

調査の概要

1 目的

県下の小学生の学習到達状況及び学習実態について調査・分析し，調査結果を行政施策に反映させるとともに，各学校での指導方法の改善に活用し，学力の向上を図る。

2 調査実施校及び児童

県内の公立小学校第5学年の中から，無作為に抽出した学級の児童

・調査実施校数	156校	(35.1%)
・調査実施学級数	156学級	
・調査実施児童数	3786人	(20.2%)
・各教科	約1900人	(約10%)
	()内は県全体に対する割合	

3 調査実施日

平成15年1月20日(月)～1月24日(金)の間で，各学校が決定した日
学習到達状況調査と学習実態調査は同じ日に実施

4 調査内容

(1) 学習到達状況調査

実施教科：国語，社会，算数，理科

(各学校は，この内指定した2教科について調査を実施する。)

調査範囲：学習指導要領に基づき第5学年2学期までに学習した内容から出題

(第4学年までの内容についても一部出題)

調査内容：知識・理解，技能・表現，思考・判断

実施時間：各教科 45分

(2) 学習実態調査（学習についてのアンケート）

学習到達状況調査実施全児童を対象とする。

実施時間：40分

調査内容

- ・ 関心・意欲・態度にかかわるもの
- ・ 生活体験等（自然体験，社会体験，読書等）
- ・ 学びに向かう力（知的好奇心，向上心等）
- ・ 自己学習力（学び方，学習計画力，学習習慣等）
- ・ 自己コントロール（ねばり強さ，学習のけじめ，授業への姿勢等）

5 調査問題作成上の主な留意点

- (1) 学習指導要領の目標や内容に基づいて作成する。
- (2) 各教科の「関心・意欲・態度」に関する状況については，学習実態調査で把握する。

6 調査集計，分析，考察で使用する用語の説明

用語	説明
正答	正しい答え
準正答	誤りとは言えず，正答としての反応があるもの
通過率	設問ごとの正答または準正答を合わせた受検者の割合
通過設問率	受検者ごとの通過した設問の割合（通過設問数÷設問数×100）
平均通過率	各教科における受検者ごとの通過設問率から各教科受検者全体の平均値を算出したもの
肯定群	学習実態調査の各設問に対して，「あてはまる」及び「どちらか」というとあてはまる」と回答した群
否定群	学習実態調査の各設問に対して，「あてはまらない」及び「どちらか」というとあてはまらない」と回答した群